

平成30年度(2018年度)

管理事業名	スポーツグラウンド事業			総合計画の体系	第4章 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 第3節 スポーツに親しめるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費 (目) 34 体育施設管理費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室		
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
<p>スポーツグラウンド管理事業 運動広場等管理事業</p>					
<p><b>事業の目的と概要</b> 指定管理者制度において、5か所(中の島、桃山台、山田、南正雀、高野台)のスポーツグラウンドの管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。 また、市の遊休地(青山台、藤白台)2か所と府からの借用の(新御堂、春日)2か所は、土地の用途が決定され返還するまでの間、暫定的に地域の住民にスポーツ・レクリエーションの場として提供します。</p>					

**I 事業の成果(実績)**

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
施設利用者数、目標利用者数 264,760人	人	234,536	238,794	233,625	中の島、桃山台、山田、南正雀、高野台グラウンドの利用者数
スポーツグラウンド使用料収入額	千円	24,828	26,767	22,944	中の島、桃山台、山田、南正雀グラウンドの使用料収入決算額(過年度使用料徴収分含む。)
成果の説明	<p>平成30年度の利用者数は、大阪北部地震及び台風の影響により、平成29年度比5,169人(2.2%)、平成28年度比911人(0.38%)減少しましたが、平成30年4月より、中の島スポーツグラウンドの多目的グラウンド共用が始まり、5,755人の利用がありました。 また使用料収入は、平成29年度比3,823千円(14.3%)、平成28年度比1,884千円(7.6%)減少しました。 自然災害に伴う各スポーツグラウンドの使用中止期間、中の島スポーツグラウンド(野球場:9月4日より使用中止→平成31年3月1日A面のみ使用再開。テニスコート:7月28日より使用中止→Cコートのみ平成31年3月1日使用再開。)、山田スポーツグラウンド(9月4日より使用中止→12月1日使用再開。野球及びソフトボールは不可。)、南正雀スポーツグラウンド(9月4日からEコート使用不可。)</p>				

**II 財務情報**

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	24,826	26,765	23,013	△3,752
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	1,649	1,343	1,208	△135
経常収入 小計(a)	26,475	28,108	24,221	△3,887
給与関係費	4,993	4,550	3,748	△802
物件費	92,796	90,889	98,665	7,776
維持補修費	6,839	64,193	6,560	△57,633
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	24	33	9
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	8,335	10,368	10,362	△6
経常費用				
徴収不能引当金繰入額	△1	-	-	-
賞与引当金繰入額	649	313	327	13
退職手当引当金繰入額	2,714	△656	△340	316
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	116,325	169,682	119,354	△50,327
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△89,850	△141,573	△95,133	46,440
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△89,850	△141,573	△95,133	46,440
一般財源充当額	99,905	132,594	74,716	△57,879
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	10,055	△8,979	△20,418	△11,438

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	スポーツグラウンド指定管理委託料87,246千円 建築物・建築設備定期点検委託料813千円
維持補修費	中の島スポーツグラウンドテニスコートフェンス災害復旧工事1,782千円 中の島スポーツグラウンドネット仮設業務1,296千円 南正雀スポーツグラウンド管理棟シャッター修繕329千円
減価償却費	桃山台・山田・南正雀スポーツグラウンド 建物 南正雀スポーツグラウンド 工作物

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	26,477	28,109	24,152	△3,957
行政サービス活動支出	105,317	160,703	109,668	△51,035
行政サービス活動収支差額	△78,840	△132,594	△85,516	47,079
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	21,066	-	-	-
投資活動収支差額	△21,066	-	-	-
財務活動収入	-	-	10,800	10,800
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	10,800	10,800
収支差額 合計	△99,905	△132,594	△74,716	57,879
一般財源充当額	99,905	132,594	74,716	△57,879
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成28年度	234,536人	496円	スポーツグラウンド5か所の利用者1人あたり 511円のコストがかかっています。
	平成29年度	238,794人	711円	震災による一時使用中止に伴い、利用者は減少しましたが、維持補修費減少により1人あたりのコストが減少しました。
	平成30年度	233,625人	511円	りのコストが減少しました。
開場1日当たりのコスト	平成28年度	延べ1,795日	64,805円	スポーツグラウンド1か所1日あたり 67,053円のコストがかかっています。
	平成29年度	延べ1,795日	94,530円	震災による一時使用中止に伴い、平年より1日あたりのコストが増加しているものの、維持補修費減少により1日あたりのコストが減少しました。
	平成30年度	延べ1,780日	67,053円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	313	327	13
未収金	-	69	69	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	313	327	13
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	2,131,048	2,120,686	△10,362	その他流動負債	-	-	-
土地	1,941,464	1,941,464	-	固定負債	4,013	14,124	10,111
建物・工作物	189,584	179,222	△10,362	地方債	-	10,800	10,800
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	4,013	3,324	△689
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	4,326	14,450	10,124
建物・工作物	-	-	-	純資産	2,126,722	2,106,305	△20,418
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	0	-
重要物品	0	0	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	2,131,048	2,120,755	△10,293
資産の部合計	2,131,048	2,120,755	△10,293	負債及び純資産の部合計	2,131,048	2,120,755	△10,293

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

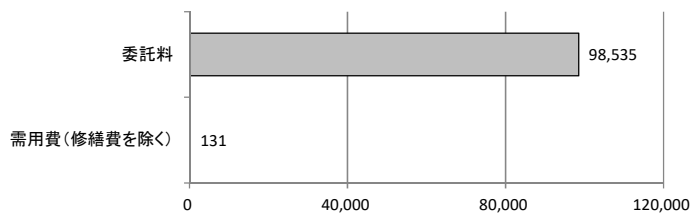
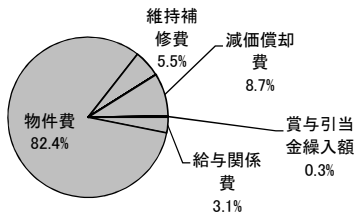
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	0.5人	人	日	人	3,734
給与関係費等	3,734千円	千円	千円	千円	3,734
内、時間外勤務手当	150千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
土地	山田・南正雀スポーツグラウンド
建物・工作物	桃山台・山田・南正雀スポーツグラウンド 建物 南正雀スポーツグラウンド 工作物 の減価償却による減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立中の島スポーツグラウンドほか
取得年月日	昭和39年(1964年)4月1日(共用開始)ほか
建物・工作物の取得価額	499,218 千円
建物・工作物の減価償却累計額	319,997 千円
利用料金収入	23,013 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		1.4	12.9	1.3	△ 11.6
施設老朽化比率		59.9	62.0	64.1	2.1
受益者負担比率		21.3	15.8	19.3	3.5
徴収不能引当率		88.0	-	-	-
一般財源充当比率		79.0	82.5	68.1	△ 14.4
経常費用対公共資産比率		23.3	34.0	23.9	△ 10.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が64.1%と2.1ポイント進行しました。  
コスト全体の82.4%を物件費が占めていますが、そのうちの99.9%が指定管理料等委託料がとなっています。  
減価償却費はコスト全体の8.7%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

中の島スポーツグラウンドほか4か所のスポーツグラウンドは平成20年度から指定管理者制度を導入しています。  
平成30年度から5年間、効率的かつ効果的な管理を図るため、スポーツテクノ和広・吹田市体育協会グループが指定管理者として管理運営を行っており、指定管理者がグラウンドキーパーを増やすことで、安心、安全な施設整備を行いました。  
平成30年度は、大阪北部地震及び台風21号の影響により、中の島スポーツグラウンド野球場Bコート及びテニスコートDコート、山田スポーツグラウンド野球場、南正雀スポーツグラウンドテニスコートEコートが被害を受け、中の島スポーツグラウンドはテニスコートフェンス災害復旧工事(1,782千円)、ネット仮設業務(1,296千円)、テニス練習板撤去工事(1,458千円)、南正雀スポーツグラウンドは、テニスコート遮光ネット張替え災害復旧工事(152千円)、管理棟シャッター修繕(329千円)等を行いました。  
自然災害に伴い、中の島スポーツグラウンド、山田スポーツグラウンド及び南正雀スポーツグラウンドについては、フェンス補修及び防球ネット補修等、今後、早期に復旧できるように、修繕していきます。